



うおづなめりかわ

魚津滑川バイパスの4車線化により 旅行速度が向上

平成28年2月28日に全線4車線化が完了した魚津滑川バイパスの交通状況と主な整備効果をお知らせします。

【交通状況と主な整備効果】

全線4車線化により円滑な交通を確保

バイパスの全線4車線化により、旅行速度※が25km/hから**53km/h**に向上しました。

※旅行速度：移動に要した時間で、信号待ちや交通渋滞による停止を含む速度

【事業概要図】



※ 整備効果と事業概要の詳細は次頁以降に記載しています。

お問い合わせ先

■ 調査第二課長

あめたに たくや
飴谷 卓也

TEL：076-443-4717（直通）

FAX：076-443-4718



パレットとやま

国土交通省 北陸地方整備局

富山河川国道事務所 Tel:076-443-4701（代）

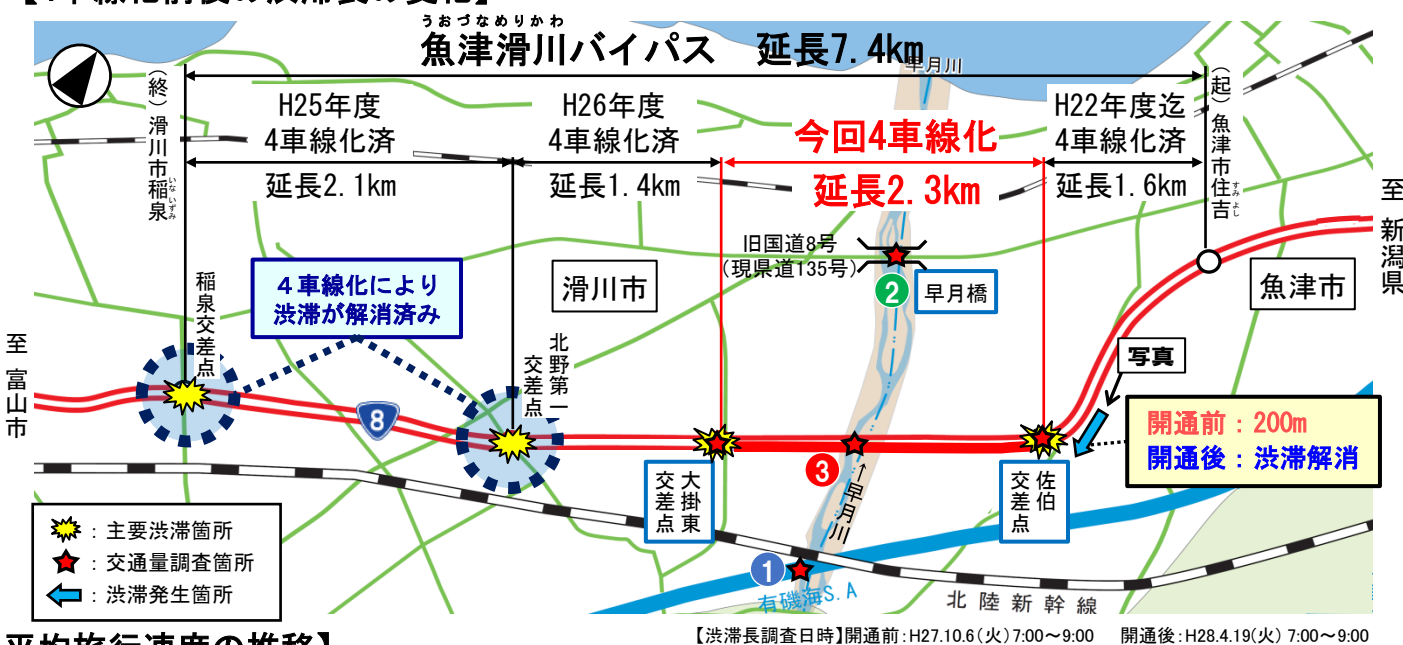
〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

魚津滑川バイパス4車線化による効果

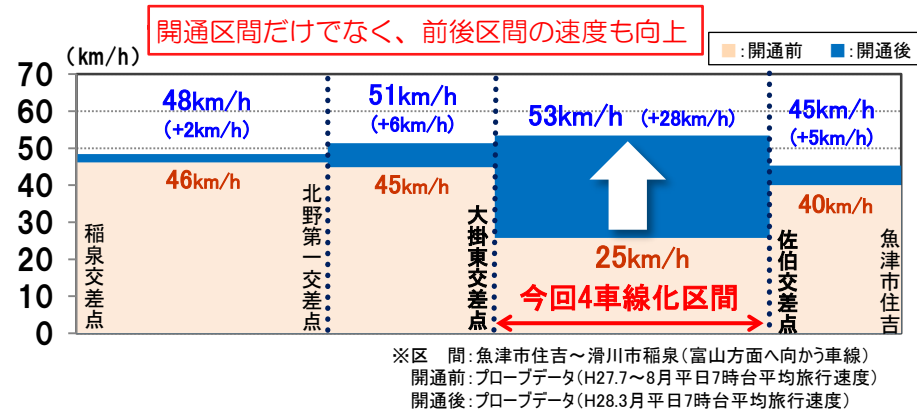
全線4車線化により円滑な交通を確保

- ・バイパスの全線4車線化により、富山方面に向かう通勤時間帯の旅行速度が25km/hから53km/hに向上しました。
- ・開通区間だけでなく前後区間の旅行速度も向上しており、年々増加する交通量に対して、円滑な交通を確保できるようになりました。

【4車線化前後の渋滞長の変化】



【平均旅行速度の推移】

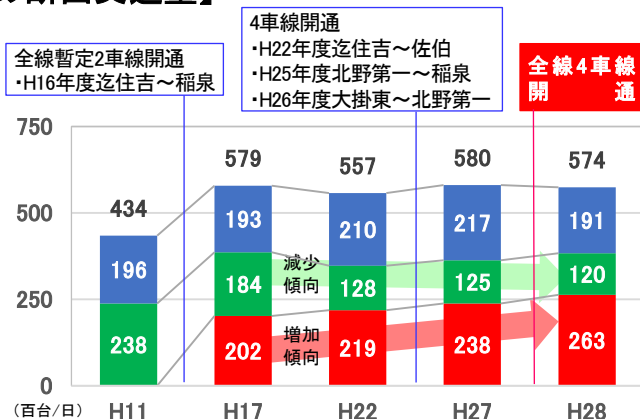


● 4車線化前の渋滞状況



【事業区間周辺の断面交通量】

バイパスの開通により、旧国道8号の交通が転換。国道8号の交通量は増加傾向。



● 4車線化後の渋滞状況



魚津滑川バイパスの事業概要

◆ 事業目的

◎ 幹線ネットワークの充実強化 ◎ 交通渋滞の緩和 ◎ 死傷事故の減少

◆ 事業概要

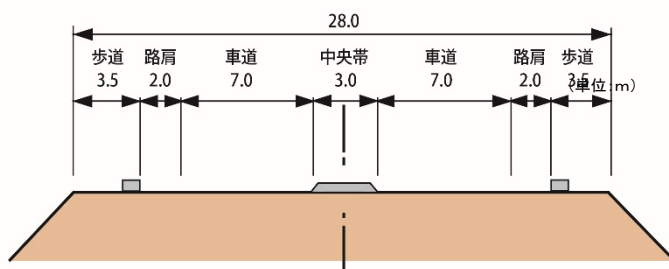
うおづ すみよし なめりかわ いないずみ

- 魚津滑川バイパスは、魚津市住吉～滑川市稲泉間の延長7.4kmのバイパスです。
- 一般国道8号は、北陸地方の主要都市を結ぶ主要幹線道路であり、その一部を構成する魚津滑川バイパスは、入善黒部バイパス、滑川富山バイパスと共に、富山市と富山県東部とを結ぶ幹線ネットワークを形成するために重要な役割を担っています。
- 当該事業区間では、朝夕の時間帯において交通混雑が発生し、速度低下に伴った死傷事故も発生しており、安全かつ快適な走行環境を確保する必要があります。

◆ 計画諸元

事業区間	魚津市住吉～滑川市稲泉
延長	L=7.4km
道路の区分	第3種1級
設計速度	80km/h
道路幅員	28.0m (3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5)

◆ 標準断面図



◆ 事業の経緯

調査開始	昭和58年度	都市計画決定	平成元年度		
事業化	平成元年度	用地着手	平成4年度	工事着手	平成5年度
開通状況	平成15年度迄	全線暫定2車線開通(魚津市住吉～滑川市稲泉) 延長 7.4km			
	平成22年度迄	完成4車線開通(魚津市住吉～魚津市佐伯) 延長 1.6km			
	平成25年度	完成4車線開通(滑川市北野～稲泉) 延長 2.1km			
	平成26年度	完成4車線開通(滑川市大掛～北野) 延長 1.4km			

